

環 境 課

○ 伊勢市環境審議会

伊勢市環境基本条例第 11 条の規定に基づき伊勢市環境審議会を設置し、環境基本計画の進捗状況等について審議した。

伊勢市環境審議会委員 会長：朴恵淑（三重大学教授）、副会長：深草正博（皇學館大学教授）、その他委員：公共的団体等に所属する者でその団体の推薦を得た者 9 人、学識経験を有する者 2 人、その他市長が必要と認める者 3 人。

○ 環境管理システムの推進

市の事業活動等において、I S O 14001 環境管理システムを構築し、及び実践することにより、市民、地元事業者等に対して率先垂範を示し、その環境保全意識の向上を図るため、平成 11 年 12 月 27 日に認証を取得して、継続的改善に取り組んでいる。平成 14 年 10 月 1 日から一部の出先庁舎でも取組を開始し、平成 18 年 7 月 1 日からは各総合支所でも取組を開始した。

主な内容は庁内電力使用量及び事務用紙使用量、公用車燃料使用量、可燃ゴミ発生量の削減など環境負荷を軽減する取組と、公共用施設への太陽光発電システム設置、低公害車の導入など環境保全を促進する取組などが挙げられる。

行財政改革の一環から、これまで外部審査委託により取得していた認証を平成 19 年 12 月 26 日に返還し、平成 20 年度から運用開始するための市独自の環境管理システムを構築した。

○ 環境リサイクルフェア等開催事業

1 環境リサイクルフェア

ごみ減量化対策等を市民に周知し、またいろいろな体験を通して市民の環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得るため、平成 19 年 10 月 21 日（日）10 時～15 時に、朝熊町県営サンアリーナ（メインアリーナ及び外部広場）において、伊勢市ごみ問題市民会議、伊勢市生活排水対策活動推進協議会と市（環境課、資源循環課）と神都ライオンズクラブの協働で環境リサイクルフェアを開催した。

なお、伊勢志摩労働者福祉協議会主催の「2007 福祉フェスティバル 勤労者ゆとり T・I・M・E y o u ・ ゆ う ・ 遊 i n g 」と同時開催。

出展内容は、有緝小学校合唱、リサイクルポスター入選者表彰式、体験コーナー（アクリルタワシ作り、手作りおもちゃ、リサイクル軍手人形作り、マイバッグお絵かき）、展示（下水道コーナー、ごみコーナー、リサイクルポスター、生活排水対策コーナー）、三角コーナー販売、小学生による環境に関する取り組み事例作品展示、フリーマーケット、外部広場で業者等による出展（太陽光パネル展示、B D F 普及展示、ソーラーラジコンカー展示）。

2 映画「不都合な真実」上映会

ライトダウンキャンペーンの一環として、環境問題に対する意識の市民高揚を目的とし、平成19年6月23日（土）に伊勢市生涯学習センター多目的ホールにて、映画「不都合な真実」を上映した。本映画の内容は、アメリカの元副大統領アル・ゴア氏の出演による、地球温暖化問題への取り組みを迫ったドキュメンタリー（第79回アカデミー賞最優秀長編ドキュメンタリー賞受賞作品）である。324名の入場者があった。

○ 地域新エネルギービジョン策定推進事業

地域レベルでの地球温暖化対策としてのCo2排出抑制やエネルギーの安定供給を図るため、新エネルギー導入促進のためのビジョンを策定した。

このビジョンにおける重点事業に1. バイオマス（生ごみ）活用事業、2. 廃食油バイオディーゼル燃料化事業を核とした地域循環システム、3. 新・省エネルギー懇話会（仮称）事業を掲げた。このうち、3. については、20年2月から一部開始され、1. および2. については、導入に向けての詳細調査を平成20年度に実施予定である。

○ 家庭用新エネルギーシステム普及推進事業

家庭でも比較的取り組みやすい新エネルギーの導入を促進し、地球温暖化防止対策を推進するために、家庭用新エネルギーシステム設備設置者に対し補助を行った。

<実績>

区分	補助金額	件数	支出額
太陽光発電設備	120,000円	5件	600,000円
太陽光発電設備+Co2冷媒ヒートポンプ給湯器	160,000円	17件	2,720,000円
太陽光発電設備+家庭用ガスエンジン給湯器	220,000円	0件	0円
小型風力発電設備	120,000円	0件	0円
計	—	22件	3,320,000円

○ 高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助事業

高麗広地区においては上水道施設がないことから、良質で安全な飲料水の確保のために、自家用井戸や浄水施設等を設置した当該地区住民に対し補助を行った。（19年度補助金交付件数3件）。

○ 放置自動車対策事業

放置自動車の発生を防止して、地域の美観を保持し良好な都市機能を維持するため、伊勢市放置自動車の発生の防止及び適正処理に関する条例を制定し（平成17年11月1日制定、同日施行）、

市道、公園、市営住宅等の市有地に放置された自動車に対し適切な措置を講じている。条例の運用は公共用地管理者（各課）が行う（処分経費は環境課で予算計上）。私有地については警察等と協力して助言指導を行う。（19年度放置自動車処分台数5台）。

○ 生活排水対策啓発事業

市民の生活排水対策に対する意識の高揚を図るため、伊勢市生活排水対策活動推進協議会と下記のとおり啓発事業を実施した。

- 6月23日 高柳商店街にて街頭啓発…チラシ、水きりネット配布
- 10月21日 環境リサイクルフェア主催…アクリルたわし作製、三角コーナー販売
- 11月23日 有緝小学校文化祭出展…アクリルたわし作製、給食生ゴミリサイクル肥料配布、不燃物入れ一斗缶配布、作品展、EMコーナー、クイズ等
- 1月26日 環境学習会開催
- 3月3日、7日 エコクッキング開催

伊勢市生活排水対策活動推進協議会委員 会長：山崎 智（伊勢市総連合自治会）、副会長：朝比奈喜美子（伊勢市婦人会連絡協議会）、その他委員：住民組織代表1人、生活排水に関する団体の代表11人、その他市長が必要と認める関係機関等の代表10人、スタッフ1人

○ 生活排水対策用品配布事業

家庭でできる生活排水対策推進のため、持続効果の高い1mm目三角コーナー・ストレーナーを一部有償（300円）で希望者に配布し、公共用水域の汚濁負荷量の軽減と生活排水の意識啓発を行った（配布個数772個）。

○ 浄化槽設置件数

浄化槽の建築確認、設置届による届出件数及び浄化槽の廃止による届出件数は、次のとおりであった。

受付別 \ 人槽別	5～10人槽	11～50人槽	51～100人槽	101～500人槽	501人槽以上	計
建築確認、設置届受付件数	500件	32件	3件	6件	0件	541件
廃止届受付件数	1,090	61	2	5	0	1,158

○ 小型合併処理浄化槽設置事業補助金

生活排水対策の推進を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助を行った。公共下水道事業認可区域については、平成13年度より市単独分で補助を行っている。

1 19年度補助実績

区分		19年度分			19年度分 (下水道認可区域内)		
種類	人槽	補助 基準額	補助 基数	補助 金額	補助 基準額	補助 基数	補助 金額
		千円	基	千円	千円	基	千円
一般	5	332	201	66,732	110	29	3,190
	7	414	156	64,584	138	23	3,174
	10	548	19	10,412	182	2	364
高度	5	444	3	1,332	—	—	—
	7	486	5	2,430	—	—	—
計		—	384	145,490	—	54	6,728

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の1市3町で構成する伊勢広域環境組合で、し尿等処理及び火葬業務を衛生的、効率的に行った。

1 19年度分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分				備 考
	し 尿	斎 場	ご み	計	
	千円	千円	千円	千円	
共通経費	2,385	475	5,809	8,669	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	191,225	38,102	465,689	695,016	実績割 100%
建設経費	22,417	—	281,796	304,213	平等割 10%、人口割 90%
公債費	2,050	—	288,021	290,071	元利補給金
清掃事業所負担金	—	—	507	507	
計	218,077	38,577	1,041,822	1,298,476	

2 19年度クリーンセンター し尿・浄化槽汚泥投入量及び処分量

月分	伊 勢 市 分	他 町 分	計
	1	1	1
4	4,905,770	817,900	5,723,670
5	5,104,430	892,970	5,997,400
6	6,554,370	939,570	7,493,940
7	4,642,710	968,020	5,610,730
8	4,372,420	831,000	5,203,420
9	4,031,180	717,700	4,748,880
10	4,522,480	883,930	5,406,410
11	4,407,860	798,950	5,206,810
12	5,046,800	966,670	6,013,470
1	3,548,310	715,250	4,263,560
2	4,626,610	879,740	5,506,350
3	5,255,070	816,310	6,071,380
計	57,018,010	10,228,010	67,246,020

3 年度別クリーンセンター処理実績の推移

区 分	17年度	18年度	19年度
	k1	k1	k1
伊勢市分	59,994	63,137	57,018
町 村 分	10,776	15,646	10,228
計	70,770	78,783	67,246

伊勢市内し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数 10 業者、許可車両台数 32 台（浄化槽専用 4 台）

4 19年度斎場利用状況

区 分	市内	管内他町	管外	計
12歳以上の者	件 1,271	件 434	件 62	件 1,767
12歳未満の者	6	0	2	8
死産児	24	1	3	28
計	1,301	435	67	1,803
胞衣汚物	39	0	0	39
霊安室利用	7	0	1	8

5 年度別斎場利用実績の推移（胞衣汚物及び霊安室利用を除く。）

区 分	17年度	18年度	19年度
市 内	件 1,314	件 1,312	件 1,301
管内町村	384	365	435
管 外	58	58	67
計	1,756	1,735	1,803

○ 防疫

生活環境の保全を図るため、希望自治会に煙霧消毒機械貸出（17台保有）を行った。また、ハチ防護服貸出（21件）を行った。

種 別	区 分	対 象	件数	薬剂量	備考
煙霧消毒 (油剤)	機械貸出	自治会	件 63	1 2,168	
		その他	0	0	
	市職員実施	公共施設等	40	298	
		私立保育園	0	0	
		災害復旧他	0	0	

○ 畜犬登録及び狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づく平成19年度の畜犬登録件数は739頭、狂犬病予防注射件数は5,822頭（うち獣医師等3,047頭）であった。

○ 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を図るため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区分	犬 雄	犬 雌	猫 雄	猫 雌	計
補助基準額	3,000 円	4,000 円	2,500 円	3,500 円	—
補助件数	107 件	108 件	116 件	209 件	540 件
補助金額	321,000 円	432,000 円	290,000 円	731,500 円	1,774,500 円

○ 伊勢公衆浴場組合の助成

市民の公衆衛生の確保を図るため、公衆浴場組合補助金に替わる支援策として、母の日、父の日、敬老の日における集客用の物品提供を行った。（平成 19 年度浴場数 10 件）

	物品	購入額
		円
母の日（5月13日）	ボックスティッシュ 1,200 個	68,040
父の日（6月17日）	T字剃刀 1,800 本	66,150
敬老の日（9月17日）	ボックスティッシュ 540 個	72,450
	石鹸 417 個	
計	—	206,640

○ 市営墓地

市が管理する大世古墓地及び大湊墓地について、管理及び清掃業務委託を行い、墓地環境の整備を図った。

墓地名等	委託先	委託料
		円
大世古墓地管理	大世古3丁目 北村日出子	156,000
大世古墓地清掃	社団法人 伊勢市シルバー人材センター	681,000
大湊墓地管理及び清掃	大湊町寿会老人クラブ	420,000
計	—	1,257,000

○ 共同墓地整備費補助金

共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し費用の一部を補助した。

墓地名	事業費	補助金	摘要
	円	円	
宮後町墓地	2,971,500	1,981,000	通路の透水性舗装整備
浦口町墓地	582,750	388,000	竹林・雑木林の伐採工事
	4,026,845	2,612,000	参道改修工事、手すり・フェンスの設置工事
川端町墓地	372,383	248,000	スロープ・手すり設置工事
朝熊町自治会 共同墓地	150,000	100,000	安全柵設置
高畑墓地	2,659,104	1,772,000	焼香場の改修工事
荘区墓地	829,000	552,000	焼香場の鉄骨塗装、通路の復旧工事
有滝墓苑	2,793,000	1,862,000	墓地増設工事、通路舗装工事
高向地区墓地	220,500	147,000	ポンプ改修工事、水栓柱の増設工事

塚山墓地	1,465,800	977,000	法面補修工事
新高向共同墓地	119,175	79,000	ポンプ設置工事
山田原溝口共同墓地	101,325	67,000	六地蔵屋根の修繕工事
灰之木原墓地	200,000	133,000	雑木林の伐採及び剪定工事
計	16,491,382	10,918,000	

○ 公害対策事業

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の実態を把握するため、県環境森林部により厚生中学校に設置（昭和63年3月から測定開始）されている大気汚染常時監視測定局で二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等の常時自動測定調査を行った。

2 水質調査

河川や海域の水質汚濁の防止を図るとともに、汚濁状態を把握するため定期測定計画を定め、河川や海域の水質及び主要事業所の排水を調査した。

(1) 19年度調査実施状況

区分	河川水質 (10河川)	事業所排水	海域	幹線排水路 水質	勢田川水質	河川界面 活性剤調査
地点	25	23	7	4	5	30
項目	16	15	6	10	16	1
回数	4	1	4	4	12	2

(2) 河川BOD経年変化

年 度	14	15	16	17	18	19	環境基準
	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
宇治橋（五十鈴川）	0.9	1.0	0.8	0.7	0.6	0.9	1mg/l以下
堀割橋（五十鈴川）	1.1	0.9	1.0	1.0	0.8	1.1	2mg/l以下
勢田大橋（勢田川）	▲6.2	▲5.5	▲7.0	3.8	▲6.7	4.1	5mg/l以下
度会橋（宮川）	0.9	▲1.2	0.9	▲1.1	0.7	0.6	1mg/l以下
大野橋（外城田川）	2.1	2.5	1.7	2.5	1.5	2.1	3mg/l以下
豊浜橋（外城田川）	1.8	1.7	2.3	1.9	1.6	1.5	5mg/l以下
有滝橋（江川）	2.1	1.4	1.0	1.4	0.9	0.9	—
大堀川橋（大堀川）	2.1	1.8	1.7	2.9	1.5	1.5	—
野垣外橋（汁谷川）	1.8	2.8	2.3	3.1	0.8	1.6	—

（注）▲は、環境基準オーバーを表す。数値は年4回の平均値

ただし、勢田大橋については年12回の平均値

(3) 海域COD経年変化

年 度	14	15	16	17	18	19	環境基準
	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
東大淀沖	0.8	0.7	1.4	0.2	0.7	1.2	2mg/l以下
村松沖	0.8	0.7	0.8	0.5	0.8	0.8	2mg/l以下
豊北漁港	1.6	0.7	0.8	0.7	0.9	1.0	3mg/l以下

大湊沖	0.5	0.5	0.5	0.2	0.7	0.6	3 mg/ l 以下
宇治山田港	1.3	0.6	1.0	0.8	0.8	0.9	3 mg/ l 以下
宇治山田港沖	1.1	0.6	0.9	0.5	0.6	0.7	3 mg/ l 以下
笹笛川地先	—	—	—	—	—	0.9	3 mg/ l 以下

(注) ▲は、環境基準オーバーを表す。数値は年4回の平均値（17年度は3回の平均値）

3 公害苦情等処理状況

相隣関係的な苦情が多く、19年度の苦情処理結果は、大気汚染 33 件、水質汚濁 29 件、騒音 36 件、悪臭 42 件、振動 6 件、その他 25 件、合計 171 件であった。

○ 特定施設等届出

公害関係法令に基づき事業場等に設置される一定規模以上の施設について、次のとおり届出があった。

区 分		19 年度届出数		19 年度廃止届出数	
		企業	施設	企業	施設
大気汚染防止法	ばい煙	10	12	3	3
	粉じん	2	2	0	0
水質汚濁防止法		9	10	5	7
騒音規制法		5	16	3	3
振動規制法		2	2	1	1
三重県生活環境 の保全に関する 条例関係	ばい煙	2	2	2	21
	粉じん	1	3	0	0
	騒音	6	16	1	1
	振動	4	6	0	0
	汚水	0	0	0	0
	揚水設備	0	0	1	10
ダイオキシン類対策特別措置法		0	0	0	0
計		41	69	16	46

資 源 循 環 課

1 ごみ排出量及び処理経費の推移

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び過去3年間の処理経費の推移は次のとおりであった。

(1) 過去5年間のごみ排出量の推移

年 度	15年度	16年度	対前年度増減	17年度	対前年度増減	18年度	対前年度増減	19年度	対前年度増減
燃えるごみ	33,598 ^t	34,065 ^t	1.4 [%]	33,189 ^t	△2.6 [%]	34,066 ^t	2.6 [%]	32,456 ^t	△4.7 [%]
金属・その他	2,770	2,419	△12.7	2,116	△12.5	1,885	△10.9	1,543	△18.1
粗大ごみ	1,861	1,945	4.5	1,667	△14.3	1,695	1.7	1,564	△7.7
小 計	38,229	38,429	0.5	36,972	△4.0	37,646	1.8	35,563	△5.5
資源物	5,519	5,320	△3.6	5,264	△1.1	5,223	△0.8	5,075	△2.8
乾電池	36	40	11.1	43	7.5	41	4.7	40	△2.4
蛍光管	14	25	78.6	26	4.0	27	3.8	30	11.1
合 計	43,798	43,814	0	42,305	△3.4	42,937	1.5	40,708	△5.2

(注) 対前年度増減 (%) = (19年度 - 18年度) / 18年度 × 100

(2) 平均排出量の推移

ア ごみの各平均排出量

年 度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
各年度末人口 ^(人)	99,969	99,691	99,126	98,095	97,606
各年度末世帯数 ^(世帯)	37,609	37,978	38,289	38,451	38,736
総ごみ排出量 ^(t)	43,798	43,814	42,305	42,937	40,708
1日平均排出量 ^(t/日)	119.99	120.04	115.90	117.64	111.53
1日1人平均排出量 ^(g/人・日)	1,200.3	1,204.1	1,169.3	1,199.2	1,142.6
1日1世帯平均排出量 ^(g/世帯・日)	3,190.5	3,160.8	3,027.1	3,059.4	2,879.2

(3) 処理経費の推移

年 度	16 年度	17 年度	18 年度
処 理 経 費	1,397,336,000 円	1,474,079,000 円	1,358,933,000 円
ごみ 1 t 当りの経費	31,892	25,508	22,881
1 人 当 り の 経 費	14,017	10,766	9,996
1 世帯当りの経費	36,793	28,248	25,873

(注) 処理経費は、毎年度環境省より実施される一般廃棄物処理実態調査で報告したものをいい、人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金（運営経費（うち建設改良費）、建設経費及び公債費除く。）、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を加えたもの。なお、17年度以降については旧4市町村の合算とした。

2 伊勢広域環境組合

4市町（伊勢市、明和町、玉城町及び度会町）で構成する伊勢広域環境組合にて、ごみの適正処理を行った。

(1) 中間処理施設

施 設 名	所 在 地	型 式	公称処理能力
伊勢広域環境組合 可燃ごみ処理施設	西豊浜町 653 番地	全連続燃焼式ストーカー 炉	240 t / 24 h
伊勢広域環境組合 粗大ごみ処理施設	"	横型回転式破砕機	30 t / 5 h
		剪断式破砕機	15 t / 5 h
伊勢広域環境組合 リサイクルプラザ	"	その他プラスチック製 容器包装圧縮梱包設備	24 t / 5 h
		びん選別設備	10 t / 5 h

(2) 分担金・公債費内訳

区 分	全 体	伊 勢 市 分	備 考
共 通 経 費	21,947 千円	5,809 千円	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	ごみ処理費	402,306	実績割 100%
	粗大ごみ処理費	63,383	
建 設 経 費	392,265	281,796	平等割 10% 人口割 90%
清掃事業所運営負担金	633	506	清掃課事務所維持管理費
公 債 費	288,021	288,021	-
計	1,299,262	1,041,821	

3 ごみ資源化の推進

市内約 950 箇所に設置した資源ステーション・資源拠点回収ステーション等で資源物の分別収集を行い、ごみの資源化を図った。また、回収量（資源化量）の推移は、次のとおりであった。

(1) 資源びん

年 度	回収量及び単価	無 色	茶 色	その他の色	計
17 年度	回収量(kg)	409,130	331,900	113,160	854,190
	売却単価(円/kg)	0.525	0.525	△0.704	—
18 年度	回収量(kg)	372,490	320,180	126,470	819,140
	売却単価(円/kg)	0.525	0.525	△0.852	—
19 年度	回収量(kg)	406,090	352,050	131,690	889,830
	売却単価(円/kg)	0.525	0.525	△0.638	—

(注) 売却単価△表示は、委託単価(逆有償)を示す。また、回収量には、リサイクルプラザへの直接持込分も含む。

(2) 紙類等

年 度	回収量及び単価	新 聞	雑誌類	段ボール	紙パック		綿製品 (布類)	計
					(1 ^{リットル})	(200 ^{ミリリットル})		
17 年度	回収量(kg)	679,890	1,964,370	583,150	21,130	1,680	67,710	3,317,930
	売却単価(円/kg)	3.5	2.0	3.0	4.0	0	0	—
18 年度	回収量(kg)	711,740	1,949,460	561,200	19,470	960	50,950	3,293,780
	売却単価(円/kg)	3.5	2.0	3.0	4.0	0	0	—
19 年度	回収量(kg)	638,280	1,763,700	546,880	16,180	280	32,940	2,998,260
	売却単価(円/kg)	7.0	3.0	5.5	6.0	1.0	1.0	—

(注) 売却単価については、年度当初の契約単価を示す。

(3) ペットボトル

年 度	回収量(kg)	売却単価(円/t)	委 託 先
17 年度	196,869	2,100	(有) ジェイピー化工
18 年度	214,058	2,100	(有) ジェイピー化工
19 年度	213,212	2,100	(有) ジェイピー化工

(4) プラスチック製容器包装

年 度	回収量(kg)	再商品化委託 単価(円/t)	地方自治体 負担割合(%)	広域組合負担 単価(円/t)	委 託 先
17 年度	895,030	80,000	7	5,600	三重中央開発 (株)
18 年度	885,880	89,100	5	4,455	三重中央開発 (株)
19 年度	789,480	85,800	3	2,574	(有) 山川商事 J F E 環境 (株)

(5) ガラス類

年 度	回収量(kg)	再商品化委託 単価(円/t)	委 託 先
19年度	68,540	14,490	トーエイ(株)

(注) ガラス類とはガラス製の食器・化粧びん・板ガラスなど(資源びんを除く)

(6) 陶磁器類

年 度	回収量(kg)	再商品化委託 単価(円/t)	委 託 先
19年度	105,030	21,000	(株)ヤマムラ

(7) 資源化率の推移

年 度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
資源化率(%)	19.32	19.18	19.84	18.93	19.54

(注) 資源化率(%) = (再生資源回収団体の資源回収量 + 資源回収量) / (再生資源回収団体の資源回収量 + ごみ総排出量) × 100

※資源回収量は、市で回収した資源物量と粗大ごみ処理施設で選別した鉄・アルミ回収量の和

(8) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。

年度	登録 団体数 (団体)	交付 団体数 (団体)	回 収 量 (kg)				奨 励 金 交 付 額 (円)
			紙 類	布 類	缶 類	計	
17年度	137	109	2,276,600	28,710	46,244	2,351,554	11,789,220
18年度	146	121	2,665,898	35,070	54,226	2,755,194	16,573,460
19年度	153	126	2,675,009	33,533	58,004	2,766,546	16,637,520

(注) 1kg当たり6円、リターナブルびんについては1本当たり3円の奨励金を交付した。

(9) ごみ減量化容器設置補助金事業

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した者に対し補助金を交付した。

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額(円)
17年度	236	242	6,143,300
18年度	174	182	4,392,400
19年度	171	173	4,385,300

(10) 資源拠点回収ステーション設置事業

資源びん、紙類（新聞、雑誌類、段ボール、紙パック）、綿製品、ペットボトル、プラスチック製容器包装等の分別回収の充実に伴い、資源物を分別しても、回収日まで家庭で保管しておくことが困難な状況が生じてきた。この状況を緩和し、ごみの減量・資源化を更に推進するため、明倫、神社及び厚生資源回収ステーションを設置した。また、地元自治会による地域集団回収モデル事業として管理運営及び一部資源物の自主売払いなど、管理運営形態の新しい取り組みを進めるため、西豊浜町の上区と辻久留台団地に地域資源回収ステーションを設置した。

ア 搬入可能物・・・資源びん、新聞、雑誌類、段ボール、紙パック、綿製品、ペットボトル、プラスチック製容器包装、乾電池及び蛍光管、ガラス類、陶磁器類

イ 搬入日・・・水曜日、土曜日、日曜日及び祝日（伊勢中央、宇治、船江、中島、城田、佐八、明倫、神社、厚生）

月曜日～金曜日、日曜日（北浜、宮本、沼木、大湊）

第1・第3・第5月曜日以外の日（いせトピア）

土曜日、日曜日及び祝日（東豊浜）

※地域ステーションについては自治会により管理・運営

※年末年始は除く

ウ 搬入時間・・・午前9時00分～午後4時30分（東豊浜は正午まで）

※地域ステーションについては自治会により管理・運営

○拠点ステーション

整備年度	施設名	施設規模	所在地
14年度	伊勢中央資源回収ステーション	144.60 m ²	宮後2丁目18-30
15年度	宇治資源回収ステーション	34.60 m ²	宇治浦田2丁目15-29
	船江資源回収ステーション	38.34 m ²	船江4丁目7-7
16年度	中島資源回収ステーション	38.83 m ²	中島2丁目18-2
	城田資源回収ステーション	38.83 m ²	中須町493-2
	佐八資源回収ステーション	38.34 m ²	大倉町1553-311
17年度	北浜資源回収ステーション	19.1 m ²	村松町3-1
	沼木資源回収ステーション	21.17 m ²	上野町1215-1
	いせトピア資源回収ステーション	53.25 m ²	黒瀬町562-12
	宮本資源回収ステーション	26.96 m ²	前山町355-4
18年度	東豊浜資源回収ステーション	31.85 m ²	東豊浜町1475
	大湊資源回収ステーション	44.02 m ²	大湊町98-5
19年度	明倫資源回収ステーション	34.63 m ²	尾上町219
	神社資源回収ステーション	34.63 m ²	神社港420-6
	厚生資源回収ステーション	22.78 m ²	八日市場町17-30

○地域ステーション

整備年度	施設名	施設規模	所在地
18年度	鹿海町資源回収ステーション	11.62 m ²	鹿海町 238-1
19年度	上区資源回収ステーション	22.96 m ²	西豊浜町 44-2
	辻久留台資源回収ステーション	16.51 m ²	辻久留町 542-9

エ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
尾上町 地内	(注1) 明倫資源回収ステーション設置工事	プレハブ倉庫 2棟 34.63 m ² 電気設備工事 一式 給排水設備工事一式	円 3,733,800	19.12.26	20. 3.14
竹ヶ鼻町 地内	(注1) 神社資源回収ステーション設置工事	プレハブ倉庫 2棟 34.63 m ² 電気設備工事 一式 給排水設備工事一式	3,236,100	19.12.26	20. 3.14
八日市場 町地内	(注2)(注3) 戦災復興記念会館跡 駐車場整備工事	(厚生資源回収ステーション) プレハブ倉庫 1棟 22.78 m ² 舗装工 5.0m 資源ステーション設置工 1基 横断側溝設置工 9.0m メッシュフェンス設置工 一式	2,250,150	20. 2. 1	20. 3.14

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 基盤整備課施行

(注3) 管財契約課と合同施行

オ 備品購入

施行場所	物品名	購入概要	金額	着手	完了
西豊浜町	上区資源回収ステーション	プレハブ倉庫 延床面積 22.96 m ²	1,024,800	20. 2.15	20. 3.21
辻久留町	辻久留台資源回収ステーション	プレハブ倉庫 延床面積 16.51 m ²	757,050	20. 2.15	20. 3.24

(11)指定袋制度運営事業

ごみの減量及び資源化を推進するため、燃えるごみの指定ごみ袋制を実施した。

ア 目的

- ①燃えるごみへの資源物の混入防止、ごみの減量と分別・資源化の推進
- ②危険物の混入によるごみ収集時やごみ処理施設での事故防止
- ③日常生活からのごみと事業活動から生じることのごみとの区別化

イ 内容

- ①対象ごみ・・・燃えるごみ、ペットボトル（御菌町用ペットボトル専用袋）
- ②指定袋種類・・・4種類（大袋 45ℓ、中袋 30ℓ、小袋 15ℓ、ペットボトル 45ℓ）
高密度ポリエチレン製、乳白色系半透明、充填材含む（消石灰系複合物等 5%以上）
- ③販売方法・・・「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売
（平成 20 年 3 月 31 日現在 販売店登録数 343 店舗）
- ④販売価格・・・希望小売価格制度にて販売
市の提示する希望小売価格
・燃えるごみ（大袋 70 円、中袋 50 円、小袋 35 円：税別）
・ペットボトル（御菌町用ペットボトル指定袋：無料）

ウ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市地内	伊勢市指定ごみ袋 納入業務委託	伊勢市指定ごみ袋の 納入、保管、配送、 受け払い、配送量報 告及び数量管理報告 業務 【燃えるごみ(大袋、 中袋、小袋)、ペット ボトル】	円 85,509,579 (2ヵ年契 約)	18. 3. 22	20. 3. 31
計	1 件	—	85,509,579	—	—

(12)資源化実験事業

ごみの減量及び資源化を図るため、特に生ごみの更なる減量・資源化を推進し、家庭から排出される生ごみの資源化への可能性を探るため、平成 16 年 2 月よりモデル地区に生ごみ処理機を貸与し、地域住民による生ごみ資源化のデータ収集（地域での生ごみ処理機共同利用状況、アンケート調査等）を行った。

- ア 貸与自治会数 1 自治会（津村団地自治会）
- イ 貸与基数 1 基
- ウ 利用状況

年 度	生ごみ投入量	取だし堆肥量 (一次処理物)	堆肥化率 (%)	減量化率 (%)
17年度	4,260 k g	721 k g	16.92	83.08
18年度	4,584 k g	808 k g	17.63	82.38
19年度	3,668 k g	653 k g	17.81	82.19

エ 取だし堆肥（一次処理物）の利用先

津村団地の住人が住宅の庭の植木や家庭菜園、近隣の農家において利用した。

4 環境美化

(1) 廃棄物集積所設置補助事業

ごみの散乱を防止するとともに住民の美化意識の高揚を図り、市民の良好な生活環境を確保することを目的に、廃棄物集積所を設置した自治会に対し補助金を交付した。

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額 (円)
17年度	8	13	1,470,000
18年度	26	60	8,770,000
19年度	31	92	11,426,000

(注) 平成17年11月から上限500,000円を限度として、利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

(2) 早朝清掃等の実施

まちを美しくして、市民の環境美化意識の高揚と実践活動を促進するため、地元自治会やボランティア団体の協力を得て伊勢市ごみ問題市民会議等と早朝清掃を実施した。

5 廃棄物減量等推進審議会

伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の規定に基づき設置した伊勢市廃棄物減量等推進審議会を開催し、ごみの減量・資源化及び一般廃棄物の適正処理の推進に向け、次のとおり審議等を行った。

(1) 伊勢市廃棄物減量等推進審議会委員

区 分	氏 名 等	摘 要
会 長	土井 正保	事業者等の代表
副会長	加藤 幸宏	事業者等の代表

委員	地域住民組織の代表	4名
〃	事業者等の代表	5名
〃	再生資源回収事業者の代表	2名
〃	関係行政機関の職員	1名
〃	学識経験者	1名
〃	公募	5名
計	委員	20名

(2) 開催状況

開催日	審議事項等
19.11.27	平成18年度のごみの状況報告とごみの減量・資源化推進を図るため、株式会社エコくるセンター（生ごみの堆肥化）と井村屋製菓株式会社（生ごみのバイオガス化）の視察を実施

6 ごみ問題対策啓発事業

ごみ減量及び資源化対策に対する市民の意識の高揚を図るため、伊勢市ごみ問題市民会議等と次の啓発事業を実施した。

(1) 伊勢市ごみ問題市民会議委員等

区分	氏名等	摘要
会長	大藪 記三	学識経験者
副会長	佐久間 泰子	公募
副会長	濱千代 美智子	公募
委員	地域住民組織の代表	3名
〃	ごみ問題に関する団体	5名
〃	事業者等の代表	6名
〃	学識経験者等	1名
〃	関係行政機関の職員	9名
〃	公募	3名

顧問	伊勢市ごみ問題市民会議前会長	1名
参与	関係行政機関の職員	6名
計	委員	30名
	顧問	1名
	参与	6名

(2) 実施事業内容

内 容	実 施 日	参加者数等
ごみゼロの日早朝清掃	19. 4. 28	約 1,000 人
花火大会翌日の早朝清掃	19. 9. 9	約 300 人
伊勢おおまつり前早朝清掃	19. 10. 13	約 500 人
伊勢市環境リサイクルフェア (小学生による合唱の披露等)	19. 10. 21	約 25,000 人
視察研修 (株式会社エコくるセンター、井村屋製菓株式会社)	19. 11. 27	委員 12 人

7 啓発事業関係

(1) 啓発イベントの開催

市民のごみ減量及び資源化に対する意識高揚を図るため、平成 19 年 10 月 21 日に伊勢市ごみ問題市民会議等と伊勢市環境リサイクルフェアを実施した。

(2) 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして 174 自治会より推薦された 375 名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、推進員業務研修を行い、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

(3) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する自治会や小学校等を対象に、伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について説明会を実施した。

・ごみの分別等説明会

説明会開催回数…延べ 13 回

参加人員…延べ 421 人

(4) ごみリサイクルカレンダーの作成

伊勢市ごみ問題市民会議と協力して、カレンダー機能及びごみ収集日、ごみの分け方・出し方等の啓発内容を合わせて記載した「ごみリサイクルカレンダー」を旧伊勢市、二見町、小俣町、御菌町ごとに作成し、広報いせ 3 月 1 日号と同時に全戸に配布した。

作成部数…旧伊勢市	43,000 部
二見町	4,000 部
小俣町	8,000 部
御菌町	5,000 部
計	60,000 部

(5) マイバッグ持参・レジ袋有料化の取り組み

地球温暖化防止と循環型社会構築に向けた環境配慮を目指し、市民・事業者・行政が連携・協力して、市内7事業者 21 店舗のスーパーマーケットにおいてレジ袋無料配布の中止を平成19年9月21日から実施した。また、実施に伴い、市民への啓発を実施した。

ア ええやんか！マイバッグ（レジ袋有料化）検討会の開催

検討会開催回数 9回（準備会開催を含む）

参加者 スーパーマーケット事業者（7事業者）、市民団体（5団体）、協力団体（3団体）

イ レジ袋大幅削減・マイバッグ持参イベントの実施

日時 平成19年6月17日（日）

場所 伊勢市生涯学習センター いせトピア

内容 有緝小学校児童合唱

講演会、シンポジウム

マイバッグ、リサイクルポスター展示

参加者 約300名

ウ レジ袋大幅削減・マイバッグ持参店頭キャンペーンの実施

日時 平成19年8月4日～9月16日の土・日曜日

場所 市内スーパーマーケット21店舗（期間中1店舗につき3回実施）

内容 マイバッグ持参、レジ袋有料化の呼びかけ行動

エ レジ袋有料化シンポジウムの開催

日時 平成20年3月23日（日）

場所 ハートプラザみその

内容 対談、シンポジウム

参加者 約150名

8 不法投棄防止対策事業関係

(1) パトロール及び不法投棄監視カメラによる防止対策

不法投棄多発地点を定期的にパトロールするとともに、市内4箇所に設置した監視カメラ（移動式）で、不法投棄の未然防止に努めた。

(2) 不法投棄の通報への対応

市民の通報を受け、現場で投棄物の調査を行い、投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、再発を防止した。投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。なお、投棄場所が私有地の場合は、所有者に連絡して対応を求めた。

不法投棄物処分量

テレビ 96 台、冷蔵庫 40 台、洗濯機 18 台、エアコン 5 台、タイヤ 255 本 他

(3) 伊勢地域不法投棄防止対策連絡会への参加

家電リサイクル法の施行等に伴い増加が危惧される不法投棄について、6 市町で構成する伊勢地域不法投棄防止対策連絡会に参加し、研修会の開催等、不法投棄防止対策について広域的に取り組んだ。

伊勢地域不法投棄防止対策連絡会会員

区 分	構 成 市 町 村
会 長	伊勢市
副会長	明和町
会 員	玉城町、大紀町、南伊勢町、度会町

(4) 不法投棄物除去作業の実施

各自治会等で行われた不法投棄除去活動に対して、回収作業等の協力をした。

9 廃棄物投棄場管理事業関係

(1) 搬入状況

市民自己搬入分として 55,500kg 公共関係搬入分として 519,300kg の搬入状況となった。

区 分	搬 入 車 数	搬 入 量	手 数 料
市 民 自 己 搬 入 分	車 126	kg 55,500	円 87,580
公 共 関 係 搬 入 分	772	519,300	—
計	898	574,800	87,580

(2) 廃棄物投棄場使用（搬入）許可件数

許可証交付 71 件 87,580 円

(3) 委託関係

伊勢廃棄物投棄場の廃止部分の跡地利用にあたり地質構成ならびに廃棄物の状況を把握するとともに地下水調査用の観測井を設置した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町 地内	(注) 廃棄物投棄場地質調 査委託	地質調査業務 一式 ボーリング 一式 観測井設置 一式 解析等調査 一式	円 4,320,750	20. 2. 1	20. 3. 10

(注) 監理課施行

清 掃 課

1 収集概要

旧伊勢市地区の一般廃棄物（燃えるごみ、金属・その他（燃えないごみ）、粗大ごみ、資源物、乾電池、蛍光灯及び小動物の死体）を車両 42 台、収集人員 87 名の体制（一部民間委託）で収集を行った。収集した一般廃棄物については、4 市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。

また、ハッピーマンデー（年 4 回：海の日、敬老の日、体育の日、成人の日）、ゴールデンウィーク（4 月 30 日）・年末（12 月 29 日）については臨時収集を行った。

なお、資源物の収集補助及び資源拠点回収ステーションの受付等業務を伊勢市シルバー人材センター、粗大ごみ収集の一部を民間業者に委託しており、平成 19 年 7 月から資源びん収集は、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた合理化事業計画（旧伊勢市地区）に基づき、市内の 2 業者に収集運搬業務の委託を実施した。

2 収集体制

(1) 収集車両

旧伊勢市地区の一般廃棄物（燃えるごみ、金属・その他（燃えないごみ）、粗大ごみ、資源物、乾電池、蛍光灯及び小動物の死体）の収集を 42 台の車両で行った。

収 集 車 両										計
5 t プレス	4 t ロード パッカー	4 t プレス	2 t ロード パッカー	2 t プレス	2 t ダンプ	2 t パワー リフト	2 t 貨物	軽 四 ダンプ	軽トラ ック	
台 1	台 1	台 1	台 24	台 4	台 2	台 3	台 3	台 2	台 1	台 42

(2) 収集人員

旧伊勢市地区の一般廃棄物（燃えるごみ、金属・その他（燃えないごみ）、粗大ごみ、資源物、乾電池、蛍光灯及び小動物の死体）の収集を 87 名の人員で行った。

運転手	業務員	計
名 18	名 69	名 87

3 燃えるごみ、金属・その他（燃えないごみ）の収集状況

一般収集については、旧伊勢市地区を2地区（月・木曜日地区、火・金曜日地区）に分け、1地区20コース（2tパッカー車19コース、軽ダンプ1コース）にて、燃えるごみは週2回、金属・その他（燃えないごみ）は隔週1回（水曜日）収集を行った。

有料収集については、戸別に粗大ごみ等の収集を行った。

町内一斉粗大ごみ収集については、各自治会単位（116自治会）で年1回（31日間）収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

区 分	燃えるごみ		金属・その他 (燃えないごみ)		計	
	延べ収集 車 数	収 集 量	延べ収集 車 数	収 集 量	延べ収集 車 数	収 集 量
	車	kg	車	kg	車	kg
一 般 収 集	13,250	19,481,130	2,071	761,750	15,321	20,242,880
有 料 収 集	331	99,030	22	6,790	353	105,820
町内一斉粗大 ごみ 収 集	276	296,700	240	245,380	516	542,080
早朝・ボランテ ィア清掃収集等	497	212,920	123	60,410	620	273,330
合 計	14,354	20,089,780	2,456	1,074,330	16,810	21,164,110

4 資源物の収集状況

資源びん、紙類（新聞、雑誌類、段ボール、紙パック）、綿製品、ペットボトル、プラスチック製容器包装については旧伊勢市地区を16地区に分け、約950箇所の資源回収ステーションを設置し、資源びん、紙類（新聞、雑誌類、段ボール、紙パック）、綿製品、ペットボトルは月1回、プラスチック製容器包装は月2回収集を行った。また、ガラス類、陶磁器類については、市内約400箇所の回収場所を設置し、随時収集を行った。

なお、資源拠点回収ステーションを平成14年度から順次開設しており、資源物の収集効率の向上を図っている。開設状況としては、平成19年度末現在で12箇所開設（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・北浜・宮本・沼木・大湊・東豊浜及びいせトピア）している。

また、視覚障がい者については、平成9年11月から自宅を隔週1回（水曜日）戸別訪問し、資源物収集を行っている。

(1)資源物収集量

区分	資源びん	新聞	雑誌類	段ボール	紙パック	綿製品
収集量	kg 715,850	kg 638,280	kg 1,763,700	kg 546,880	kg 16,460	kg 42,780

ペット ボトル	プラスチック 製容器包装	ガラス類	陶磁器類	計
kg 204,590	kg 721,920	kg 68,540	kg 105,030	kg 4,824,030

(2) 視覚障がい者宅戸別収集

訪問回数 延べ 250 回（内訳 10 名×25 回）

5 乾電池、蛍光灯の収集状況

乾電池、蛍光灯については、拠点となる公共施設及び販売店にて収集を行った。

区分	乾電池	蛍光灯
収集量	(注) kg 40,239	kg 25,905

(注) 乾電池については、伊勢広域環境組合への市民からの直接搬入分を含む。

6 一般廃棄物処理手数料

(1) 粗大ごみ及び等の有料収集手数料として 405 件、2,017,000 円を徴収した。

また、猫等の小動物 311 体の死体収集を行い、そのうちペットとして飼われていた 76 体については、1 体につき 1,050 円の手数料として、79,800 円を徴収した。

区分	手数料	
	件数	金額
有料収集	件 405	円 2,017,000
小動物の死体	76	79,800
合計	481	2,096,800

(2) 生活保護者 2 件、火災被害者 4 件の収集については、一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	生活保護者	火災被害者	計
件数	件 2	件 4	件 6